

4月14日

## 誰もが安心して暮らせるように 身体障害者福祉協会白糠分会総会

釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会（石田正義会長、会員34人）の令和6年度定期総会が白糠コミュニティホールで開かれ、会員や来賓など20人が出席し、新年度の事業計画や予算などを決めました。

総会で石田会長は「障がい者を取り巻く環境はまだ厳しい。誰もが安心して暮らせるよう取り組んでいきましょう」とあいさつを述べました。



総会後に交流会を開催し、会員や来賓で親睦を深めました



寄贈されたヘルメットをかぶり記念撮影

4月12日

## ルールを守って交通安全 新1年生に自転車用ヘルメット寄贈

八百坂建設（八百坂健次郎代表取締役）が町内の新1年生に自転車用ヘルメットを寄贈しました。

この日は、八百坂代表取締役と北海道釧路方面釧路警察署の署員が白糠学園を訪れ、八百坂代表取締役が新1年生21人に一人ずつヘルメットを手渡しました。

児童たちは「ありがとうございます。自転車に乗るときは交通事故に気をつけます」と喜んでいました。

4月6日・7日

## 甘いメープル料理を味わう 驚きの森「メープル祭り」

3月にしか採れないイタヤカエデの樹液を使ったメープルが楽しめる「メープル祭り」が6、7日の両日上茶路「驚きの森」で開かれました。

会場では、メープルベーグルやメープルシロップをかけた石窯焼きのピザ「クワトロフォルマッジ」などが販売。初日の6日は好天に恵まれ、メープルを堪能しようとたくさんの来場者でにぎわっていました。



メープルピザやメープルプリンなどを味わう来場者



池田常務理事（右）にティッシュを手渡し池田会長

4月5日

## 介護現場で活用して 女性団体連絡協議会ティッシュ寄贈

町女性団体連絡協議会（池田昭子会長）が、町社会福祉協議会にボックスティッシュ180箱を寄贈しました。

この日は、同連絡協議会の会員5人が保健センターを訪れ、同協議会の池田浩樹常務理事にボックスティッシュを手渡しました。また、特別養護老人ホーム清和園にも同数のティッシュを寄贈しました。



式辞を述べる棚野町長

4月14日

## アイヌ文化を町内外へ発信 アイヌミュージアムポコロ落成式

白糠アイヌミュージアムポコロの落成式が同施設で行われ、関係者約60人が新たな門出を祝いました。

式では棚野孝夫町長が「ウレシパチセと2つの拠点で、アイヌ伝統文化への理解を深化させていきたい」と式辞。来賓祝辞に続いてアイヌ文化保存会が古式舞踊を奉納。最後にテープカットが行われました。ポコロは入場無料で9時～17時まで。月曜日が休館日です。



写真上／完成を祝ってテープカット 写真中／アイヌ文化保存会による弓の舞「ク・リムセ」  
写真下／同じくアイヌ文化保存会がムックリの演奏を披露

4月11日

## 工事の安全と愛される施設になることを願う 道の駅「しらぬか恋問」地鎮祭

来年4月オープン予定の道の駅「しらぬか恋問」移転改築の地鎮祭が現地で開かれ、関係者約60人が工事の安全を祈りました。建築主の棚野孝夫町長は「町の情報発信拠点として、多くの方に愛される施設になることを願います」とあいさつ。事業者代表のオカモトの黒川明彦専務は「無事故、無災害で完成するよう、チーム一丸となって事業を推進します」と述べました。



神事でクワ入れをする棚野町長



入学生を代表し、決意表明を述べる久利さん

4月10日

## 不足している掘削技術者を育てる ジオパワー学園3期生入学式

学校法人ジオパワー学園掘削技術専門学校（井上政史校長）の第3期生入学式が同校で行われ、埼玉県や奈良県、香川県など全国各地から16人が入学しました。

井上校長は「掘削技術の学びを深く掘り下げ、よきドリリングクルーになることを願っています」と式辞。入学生を代表し、久利宏河さんが「経験と学びで無駄ではなかったと思えるよう過ごしたい」と述べました。